

F301		包括的ヘルスケア論	
英名科目名	Current status and issues of integrated health care system in Japan		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL : 075-325-5350 FAX : 075-325-5317		
担当教員	松田 芳恵 (健康科学部医療福祉学科 准教授) 田中 希世子 (健康科学部医療福祉学科 准教授) 高橋 岳大 (健康科学部医療福祉学科 非常勤講師) 村上 成美 (健康科学部医療福祉学科 非常勤講師)		
開講期間	2021年04月09日(金)~2021年07月23日(金) 全授業回をオンデマンド実施とする 休講(学校行事)2021年04月16日(金)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	3年次以上
会場			
授業定員			
単位互換生定員	3	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	<p>【成績評価方法】 出席(授業毎小課題提出をもって出席とします)30% レポート30%(15%、15%) 最終レポート40%</p> <p>【成績評価基準】 レポート内容は授業で話されたテーマに沿って書かれ、かつ各自が考えた独自の意見が記載されていることで評価される</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料科目数を問わず10,000円) 聴講生(聴講料10,000円、選考料免除)		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可</p> <p>【授業時間外学修(予習・復習等)について】 授業で出された課題を行うため30分程度行うことが望ましい</p> <p>【担当者からのメッセージ(履修上の留意点等)】 積極的な取り組みを期待します。出席は2/3以上を前提とします 研究室 5309 オフィスアワー 授業・会議時間、研究日以外</p>		
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【授業テーマ】 地域包括ケアの実際と専門職の役割、連携の重要性について理解する</p> <p>【授業の概要】 日本では高齢化が急速に進み、高齢者のニーズも多様化している。認知症をはじめとして、介護を要する高齢者数も国家の予想を超えるスピードで増加しつつある。それに対応すべく、地域包括ケアシステムが構築され、急ピッチでその整備が進められている。この科目では、第一線の現場で地域包括ケアにかかわる外部講師・ゲストスピーカーをお招きして地域包括ケアの実際を学ぶ。その中で、履修者がそれぞれの専門職としての役割と連携を理解し、自分たちが担うべき将来について考えることを目標とする。したがって、全講義を通して、知識を得るのみではなく、履修者すべてがともに考え積極的に議論して、自分のこととして新しいアイデアや考えを求め、他者に問う姿勢を求める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1. 我が国の少子高齢化に伴う問題を理解する</p>			

2. 地域包括ケアの理論と制度を学ぶ	
3. 地域包括的ケアの実際を学ぶ	
講義スケジュール	
【授業計画及び授業内容】	
1. 包括的ヘルスケア論の授業概要と流れについて(松田)	
2. 地域包括支援センターの役割を学ぶ(高橋)	
3. 事例から学ぶ(高橋)	
4. 事例から学ぶ(高橋)	
5. 地域包括支援センターの今後の展開(高橋)	
6. レポート作成	
7. 訪問看護ステーションの役割を学ぶ(村上)	
8. 事例から学ぶ(村上)	
9. 事例から学ぶ(村上)	
10. 訪問看護ステーションの今後の展開(村上)	
11. レポート作成	
12. 社会福祉士の役割を学ぶ(田中)	
13. 制度を学ぶ(ゲストスピーカー 高橋)	
14. まとめ(松田)	
15. 最終レポート作成	
【授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック】 オンデマンドで行う	
教科書	なし
参考書	なし